

【記者提供資料】
令和5年7月28日
まちの再生部都市政策室
交通まちづくり課(担当:高寺)
直通:555-6777 内線:2870

グリーンスローモビリティ“むこぐるぐる”の運行に係る実証実験について

令和4年度に引き続き、フラワータウン（武庫が丘地区）において、新たなモビリティとして期待されている「グリーンスローモビリティ^{*}」の地域での活用に向けた実証実験を行います。

※グリーンスローモビリティとは

時速20km未満で公道を走ることができる電動車を活用した移動サービスで、その車両も含めた総称のことです。本実証実験では、運転手を含む7人乗りの車両を活用します。

1. 事業の概要

この事業は国土交通省の道路に関する新たな取り組みの現地実証実験（社会実験）の採択を受け「次世代モビリティ（グリーンスローモビリティ）と歩行者、自転車、車の安全な共存空間づくりに関する実証実験」として行われるものです。（参考URL <https://www.kkr.mlit.go.jp/news/top/press/2023/20230629-3syakaijiken.html>）

市では、令和4年度、交流拠点やフラワータウン地区中心の商業集積地への新たな移動手段として「グリーンスローモビリティ」を活用した運行実証実験を行ってきました。

その結果、武庫が丘地区では31日間で231人（日平均7.5人）の利用があり、アンケートからも「外出機会を創出」「導入による移動の不安解消」に寄与することが分かりました。

これを踏まえ、今年度も同地区においてグリーンスローモビリティを活用し、歩行者と自転車、車が共存できる安全な道路空間づくりについても検証することとします。

本実証では、新たな安全対策として、株式会社パトライト、総合警備保障株式会社、P C Iソリューションズ株式会社と共に道路上での車両接近を喚起するしくみを取り入れ、その有効性を検証します。

また、神姫バス株式会社や地域のまちづくり協議会をはじめ、商業施設など多様なステークホルダーとの共創により推進していきます。

2. 実施内容

(1) グリーンスローモビリティの運行（別添 チラシ(案)参照）

- | | |
|--------|---------------------------|
| ① 運行期間 | 令和5年8月16日（水）から10月17日（火）まで |
| ② 運行地域 | 三田市武庫が丘地区（愛称：むこぐるぐる） |
| ③ 利用者 | どなたでもご利用いただけます |
| ④ 利用料 | 無料 |
| ⑤ 車両 | ヤマハ製グリーンスローモビリティ AR-07 1台 |

(2) グリーンスローモビリティ（グリスロ）の運行にあわせて実施する安全対策

徒歩や自転車、乗用車など多様なモードが共存することを前提とした道路空間のあり方について、歩行者や自転車の安全性確保に有効な対策を検証します。

- ① ヒヤリハットポイントで、車両接近を知らせるシステムの効果を検証する。

実施期間：9月中旬から10月中旬まで

- ② 自転車歩行者専用道路での新たな通行区分の路面標示
- ③ グリーンスローモビリティ車両からの音声・メロディ発信



3. 実施主体

三田市モビリティサービス実証推進協議会が国土交通省からの一部委託により実施します。

【三田市モビリティサービス実証推進協議会構成団体（順不同）】

- 三田市
- 神姫バス株式会社
- 株式会社北摂コミュニティ開発センター
- 武庫小校区まちづくり連絡協議会
- 三田市社会福祉協議会
- 神戸電鉄株式会社
- 早稲田大学スマート社会技術融合研究機構（アドバイザー）
- 兵庫国道事務所（オブザーバー）